

選手注意事項

1 競技会開催における基本的な感染対策について

(1)日本陸上競技連盟の競技会開催についての留意事項

<https://www.jaaf.or.jp/files/upload/202303/27-102357.pdf>

(2)入場制限をしない。

(3) 体調不良、発熱の場合は来場の自粛をお願いします。

(4) 競技以外でのマスクの着用は推奨いたします。

2 競技について

(1) 202 年度日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

(2)三段跳・円盤投については出場人数により、3 回の試技またはベスト 8 プラス 3 回の試技とする

(3)棒高跳のバーの上げ方は、下記の高さを基準として行う。練習並びにバーの上げ方は審判との調整で行う。

中学男子	練習	1	2	3	4	5	6	7	8
	※	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10
中学女子	9	10	11	12	13	14	15	以後は選手と審判で調整する。	
	3m20	3m30	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80		

3 練習について

(1)競技場の外周及び競技場内の競技に支障のない場所で引率者の責任において練習すること。

(2)フィールド競技については、招集完了時刻から試技場所にて実施できる。

(3)競技開始前の周回を使う練習については、競技開始時刻の 15 分前までとする

(4) 室内走路の使用は原則禁止とする。

4 招集について

(1) 招集所(100m スタート側北器具庫とする。

競技開始時刻を基準として下記の通りとする。招集時間に遅れた場合は失格とする。

(2)リレー競技については、1 組目の招集完了時刻の 1 時間前までにオーダー用紙を提出すること。提出がなければ棄権とみなす。

	招集開始時刻	招集完了時刻 (現地)	招集後の動き
トラック競技	20分前	15分前	チェック後スタート地点に各自移動
フィールド競技	60分前	45分前	チェック後試技場所に各自移動
リレー競技	20分前	15分前	チェック後スタート地点に各自移動

5 アスリートビブス(ナンバーカード)および腰ナンバーカードについて

- (1)スタートリスト記載の番号のアスリートビブス(24cm×16cm)を各自準備して胸と背中につけること。
- (2)跳躍競技に出場する競技者は胸部又は背部どちらかでよい。
- (3)1000m 以上の競技に出場する競技者は招集開始時刻に招集所にて腰ナンバーカードを受け取りパンツ右後方につけること。またゴール後係員に返却すること。
- (4)ナイトチャレンジの部に参加する選手は選手受付にてアスリートビブスを受け取ること。

6 抗議について

競技の結果または行為に関する抗議は、その競技種目の結果の正式通告発表後 30 分以内に、競技者自身または代理人(顧問または監督)が審判長に対して口頭で申し出なければならない。

口頭での抗議に対する裁定に不服の場合は、その競技者に代わる責任者(顧問または監督)が競技者によって署名された文書と預託金 10,000 円を添えて本大会総務へ正式な上訴の手続きをとる。

7 その他

- (1)ゴミは所属毎に持ち帰ること。
- (2)置き引き、盗難等の発生する恐れがあるので各自持ち物(自転車も含む)および貴重品の管理には十分に注意すること。
- (3)雨天走路、更衣室を待機場所としての使用を禁止する。
- (4)競技場一階には競技役員以外の入場を禁止する。
- (5)事故・怪我の際には等当協会では応急処置は行うが、その後の保証はしない。
- (6)緊急時における避難場所はフィールド中央とする。事前に弘進ゴムアスリートパーク仙台の避難場所を確認すること。
- (7)開門時間 12:00、競技場開門 12:15、閉門時間 20:30 とする。時間を厳守すること。
- (8)駐車場について:競技場前は競技役員専用、各所属 1 台 JR 跡地の駐車を認める。入場門で駐車券をもらうこと。